

竹粉機導入に向けて



- ◇ 11月6日、松島町内にて樹木粉碎機のデモ実施
課題であった竹粉の生産に向け必要な機器であり、竹林所有者、JA、松島町宮城中央森林組合が参加
- ◇ 実践し、その能力、メンテナンスに問題がないことを確認
- ◇ 購入費に関しては、昨年より復興資金を提供していただいている枚方市ライオンズクラブからの提供と、JA仙台からの負担で購入決定
- ◇ 運営に係り、生産される竹粉の出口を作り加工、販売へのルート作りへ

1.【ビジョン】

低利用資源『竹』の有効活用サイクルの構築と水田の新たな活用

被災地の竹林整備

良質なたけのこの生産

被災地での生産

竹粉生産

販売

農業資材として活用

伐採した竹の買い取り

伐採による整備

地域の特性を生かす資源活用

生産コスト減

品質向上

伐採コスト負担

新規就農

ストーリーのある農産物

竹資源を活用した地域の環境、人、資源が生かせる社会

竹の利用減

新たな地域資源を活用した農産物の優位性

水田が油田

地域の実情に合った整備手法の確立

ブランド化

里山景観

地産地消

観光資源

魅力ある里山づくり

被災地の資源活用



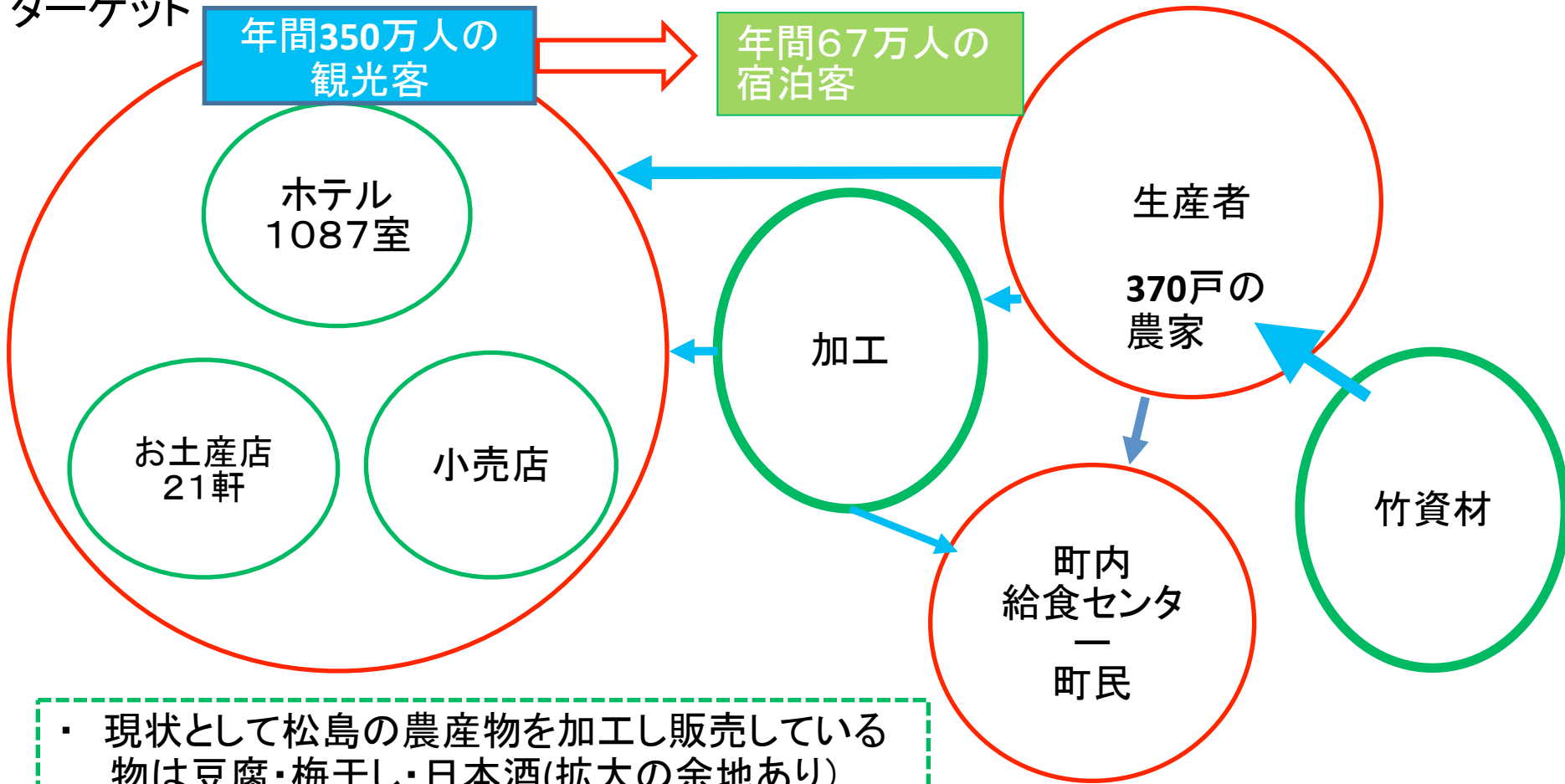
2. 【事業目標】

□ 3年後の姿

- ・ 竹林整備を継続するために、伐採した竹の有効活用、その資材を使った農業の推進、竹資材を使った農業の実践、その生産物加工、販売し社会全体が循環型になる姿。
 - ・ 松島町総面積5404ha、そのうち山林は2658ha、竹林はその10%強を占める。30年前は3.5%。
 - ・ 竹林整備は昨年までは総計100人のボランティアによる整備は実施。本年は、松島町緊急雇用メンバーと、森林組合により10haを整備。
 - ・ 整備推進のための竹林粉碎機の導入などを行い3年後には、竹林所有者自ら竹林を整備する環境を作る。
 - ・ 伐採した竹の有効活用として、植織型資材(直接散布する物)、土壌改良型資材(イデアルグリーン;株式会社環境開発との連携)
- 伐採による、たけのこの収量増1tを10t以上、竹資材の販売、竹資材を使った農産物の生産、その農産物から米粒せんべい、赤かぼちゃの加工品、果物の生産、米油の生産販売を行う。
- 竹資材を使った商品を環境保全推進商品として認証する方法を作る

3. 【顧客と市場】

ターゲット



- ・ 現状として松島の農産物を加工し販売している物は豆腐・梅干し・日本酒(拡大の余地あり)
- ・ 松島産と言うブランドで販売実験(チーズ)好評
- ・ 松島産農産物の加工品は大きなニーズあり

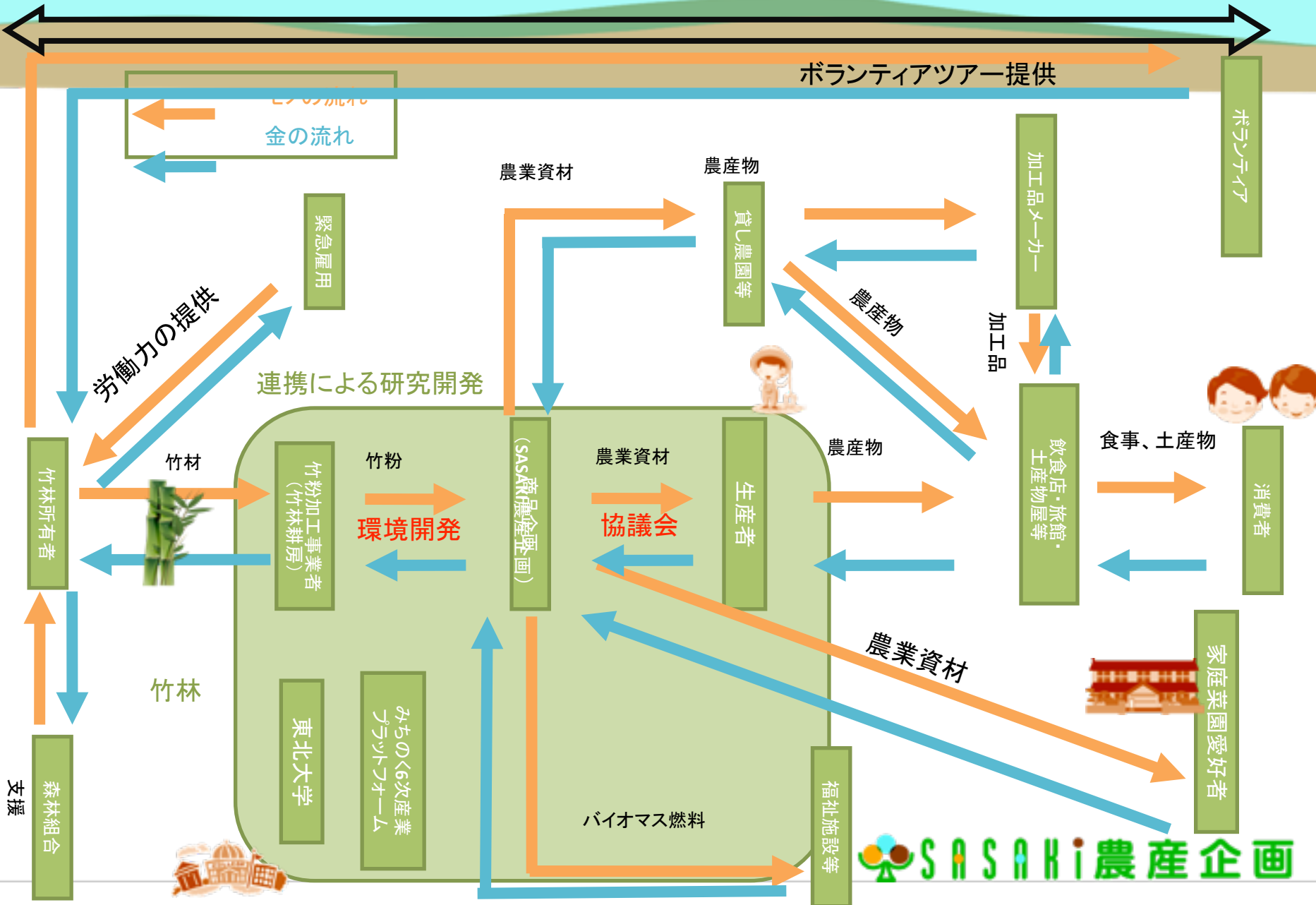
4.価値と競合

- ・ 提供するコアバリュー
松島の荒廃した竹林整備を起点とした循環型社会構築の中から生まれる商品の提案と販売。連携先として、農業委員、5つの協議会、地産地消委員会、四季彩食。
竹資材を活用した商品に対する認証制度。
- ・ 市場で戦えるか
現在、松島の観光の中で不足している、地元農業力の発揮による新たな顧客の掘起こし、商品提案により市場の確保が可能
- ・ 競合は
松島で販売されている、産地不明のお土産。原料へのこだわり、履歴を明確にした商品供給。原料産地の開示等ができる
- ・ 価格戦略
新たに展開する、松島産農産物を使用した商品に関しては類似商品なく、価格は適正に設定可能

5. 【事業構造】

川上

川下



6. 【マーケティング】

どのように顧客を開発していくのか

松島町においては、生活圏への竹林の浸食が社会問題化。伐採コスト大きく、放置

竹林所有者・農家……原料供給者・利用者を開拓

竹粉を使った農産物を町内で販売。認証制。ホテル、お土産、飲食で付加価値をつけ展開

コストをいくら掛けるか

竹原料購入費k10円

竹粉碎機負担50万

- 里山景観保全
- 竹の需要の低迷
- 竹林を手入れできない
- 伐採しても出口がない

竹林整備

荒廃した竹林を資源に変える新しいバリューチェーンの構築

竹粉加工

竹粉・竹粉使用の農産物・加工品

竹資材を使った商品開発20万
試食会 15万
パンフレット 20万

- 資源を生かす農業資材
- 有用性の根拠
- 地産地消
- 地域全体での取り組み
- ストーリー性

地域の取組として定着

7.【組織 運営体制】

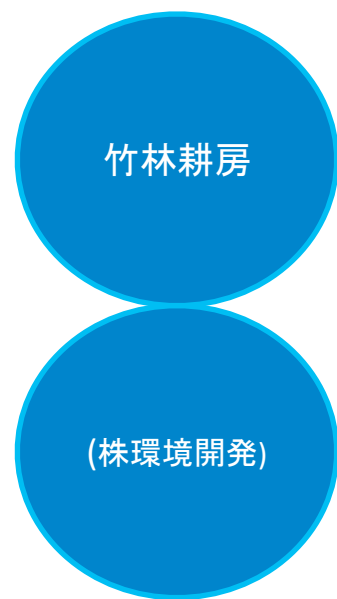
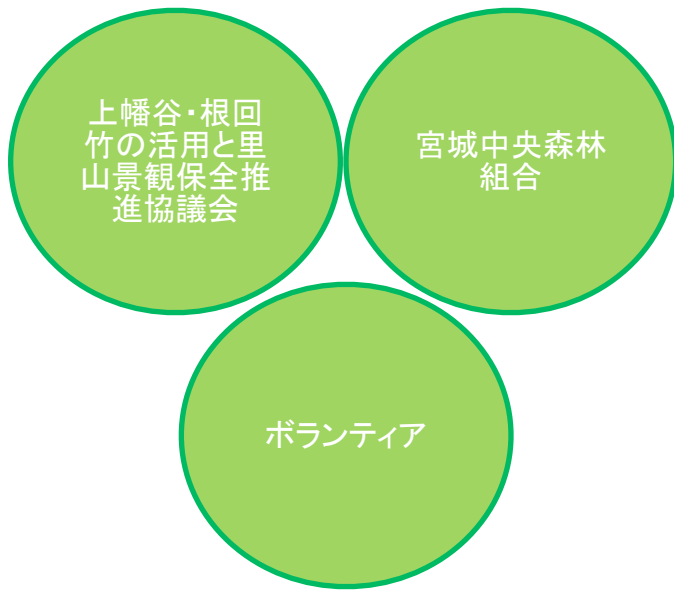
組織の在り方



伐採・粉碎

加工

販売＋商品化



- ・竹林伐採・購入
- ・資材の販売
- ・商品化
- 松島に事務所を解説(仮)
- 清算・連絡・商品開発・・・1名～2名
- 松島NPOと連携

8. 【収支計画】

3ヶ年売上予測

	項目	創業当初	2年目	3年目
1 売上高	竹粉関連商品	1350(千) 平均900×1500	1800(千) 平均900×2000	2250(千) 平均900×2500
	米油関連商品	700(千) 平均700×1000	1400(千) 平均700×2000	2100(千) 平均700×3000
	他、開発商品	1000(千) 平均500×2000	1500(千) 平均500×3000	2500(千) 平均500×5000
	小計 1	3050(千)	4700(千)	6850(千)

ランニングコスト

2 経費	人件費	1250(千)	1500(千)	1500(千)
	通信費	60(千)	60(千)	60(千)
	交通費	50(千)	50(千)	50(千)
	水道光熱費	60(千)	60(千)	60(千)
	家賃	240(千)	240(千)	240(千)
	その他	100(千)	100(千)	100(千)
		1760(千)	2010(千)	2010(千)

初期投資等

- 初期投資として、竹粉碎機の購入の自社の負担。50万⇒自己資金内で負担
松島事務所に関しては、NPO事務所内で開設⇒年間24万
- 販売する商品に関しては、在庫を持たず受注する方向で負担は少ない。

9. 【アクションプラン】

- 竹林整備についての環境づくり……1年目
組織、機械、場所
- 資材の加工……1年目
植織機;石巻竹林耕房(被災企業)
土壌改良資材;(株)環境開発
- 販売先の確保;ホテル、お土産店、給食センターへの営業……随時
- 生産農家との連携;竹資材を使う認識の共有……1年目
- 販売者との連携;何故、竹なのか(セミナー、試食品の供給)……1年目
- これらの出口商品の試作、販売……随時……今やると、次年度に生かせる
- 竹林整備;農家自ら行う為の、原料買い上げルールの設定



課題

- 竹林整備のコスト、竹の買い上げ価格、商品の販売価格の整合性
- 竹資材使用方法の確立